

〈7〉奈良県の結婚・子育て環境のイメージ

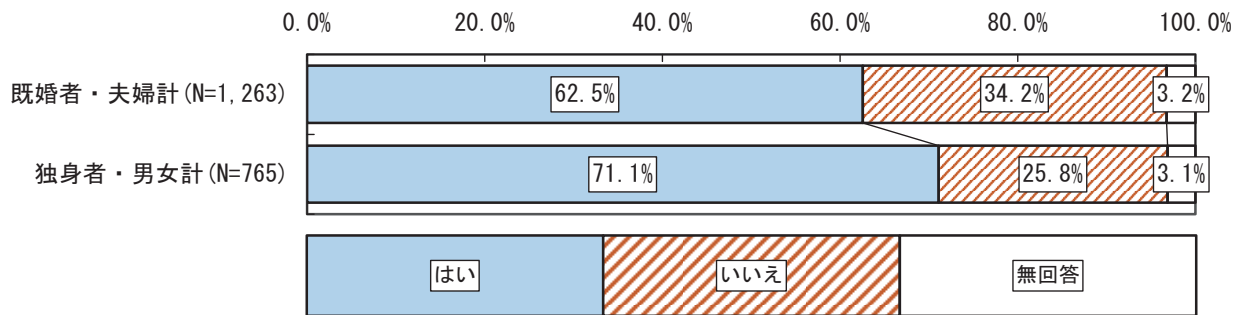
結果のポイント

- 夫婦の約6割、独身者の約7割が奈良県は子どもを産み育てやすいところだと思っている
- その理由は自然環境が第1位で、次いで買い物などの生活環境が整っていること

① 奈良県は結婚して子どもを産み育てやすいところか

夫婦では、奈良県は結婚して子どもを産み育てやすいところだと思う人は62.5%となっている。独身者では、奈良県は結婚して子どもを産み育てやすいところだと思う人は71.1%となっている。夫婦と独身者を比較すると、独身者の方が肯定的な意見が多い。

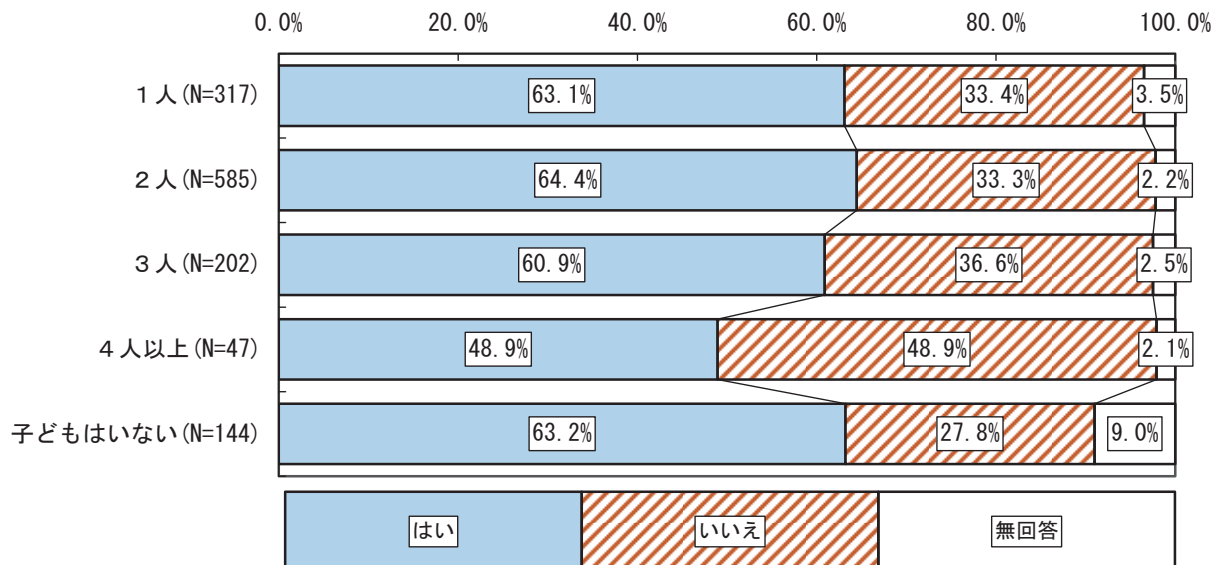
【図表7-1-1 夫婦・独身者別 奈良県は子どもを産み育てやすいところだと思うか】



※回答者全数（性別不明を除く）

子どもの人数別にみると、奈良県は結婚して子どもを産み育てやすいところだと思う人は、子どもが1～3人の場合6割が肯定的な意見だが、4人以上になると5割を下回ってくる。

【図表7-1-2 子どもの人数別 奈良県は子どもを産み育てやすいところだと思うか】



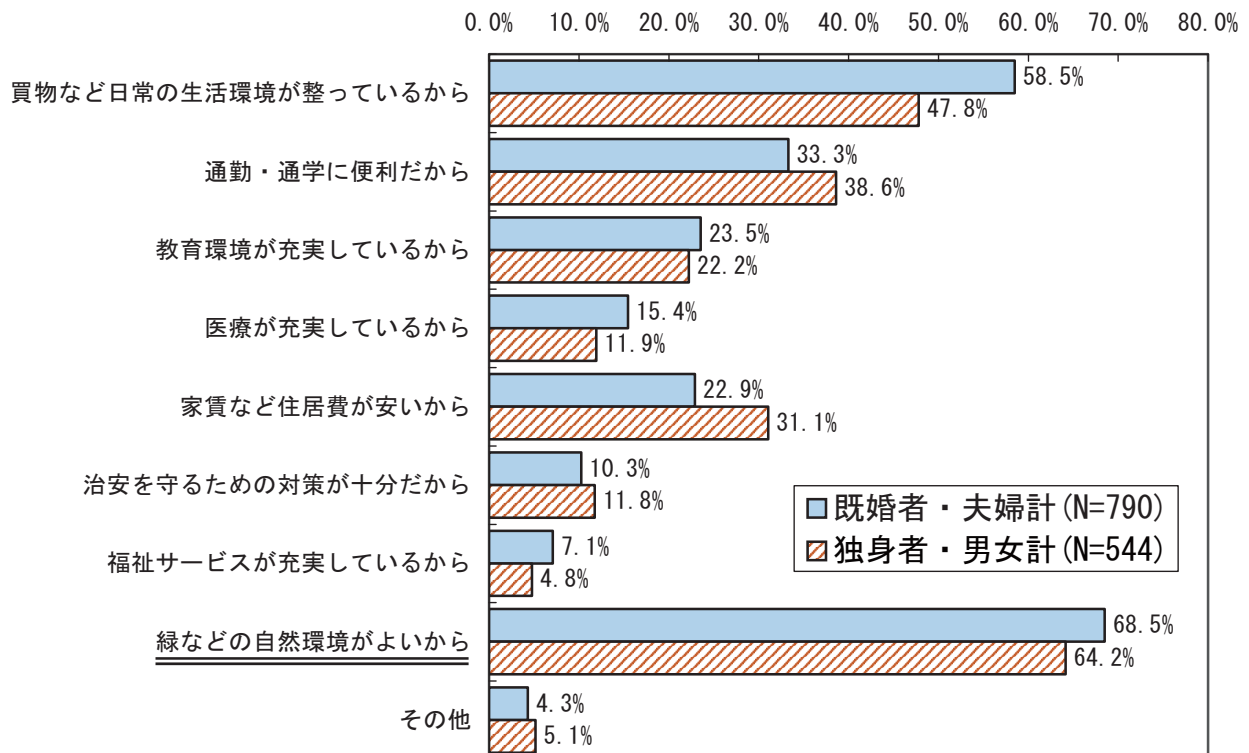
※回答者全数（子ども数不明を除く）

② 子どもを生き育てやすいところだと思う理由

夫婦では、子どもを生き育てやすいところだと思う理由をみると、「緑などの自然環境がよいから」が68.5%で最も多く、次いで「買物など日常の生活環境が整っているから」（58.5%）、「通勤・通学に便利だから」（33.3%）となっている。

独身者についても夫婦調査と同じ順で、「緑などの自然環境がよいから」が64.2%で最も多く、次いで「買物など日常の生活環境が整っているから」（47.8%）、「通勤・通学に便利だから」（38.6%）となっている。

【図表7-2-1 奈良県は子どもを生き育てやすいところだと思う理由】(複数回答)



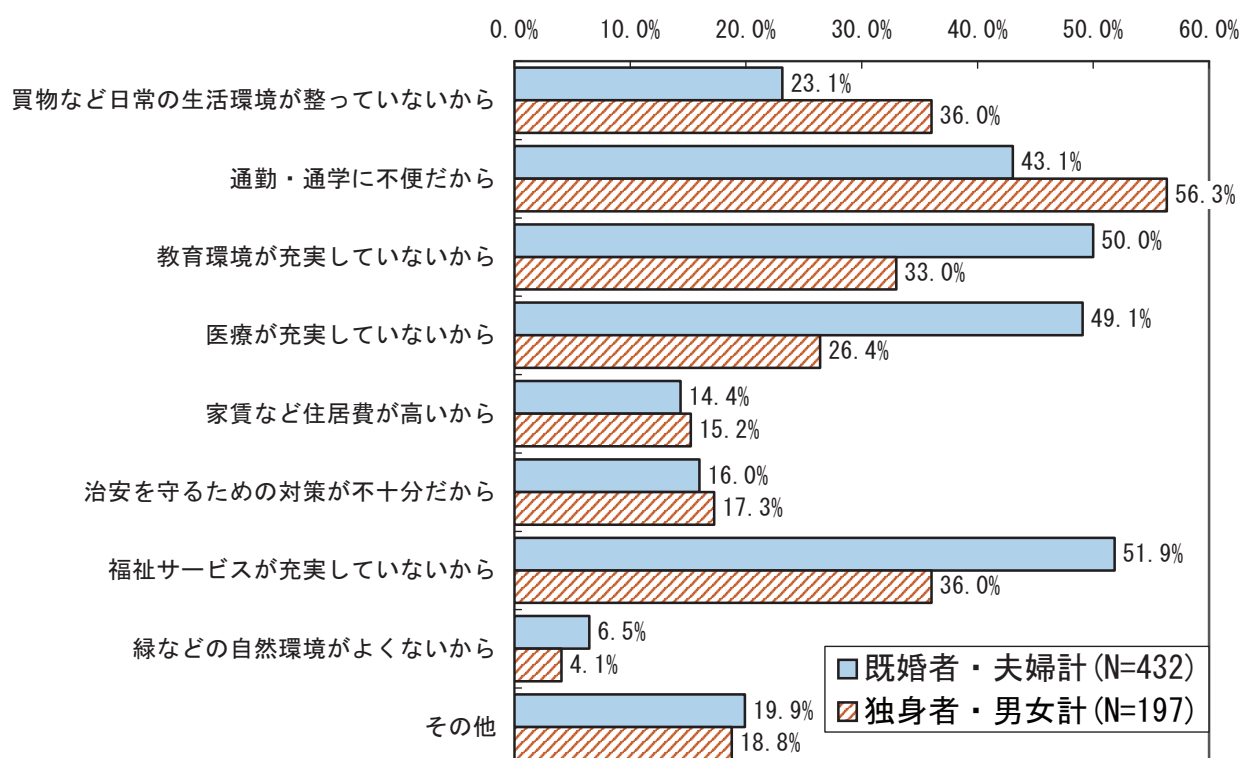
※回答者全数（性別不明を除く）

③ 子どもを生き育てやすいところだと思わない理由

夫婦では、子どもを生き育てやすいところだと思わない理由をみると、「福祉サービスが充実していないから」が51.9%で最も多く、次いで「教育環境が充実していないから」（50.0%）、「医療が充実していないから」（49.1%）となっている。

独身者では、子どもを生き育てやすいところだと思わない理由をみると、「通勤・通学に不便だから」が56.3%で最も多く、次いで「買物など日常の生活環境が整っていないから」、「福祉サービスが充実していないから」（ともに36.0%）となっている。

【図表7-3-1 奈良県は子どもを生き育てやすいところだと思わない理由】(複数回答)



※回答者全数（性別不明を除く）

◆有識者が読み解く奈良県のデータ◆ 「子育て支援の充実は地域住民への大きなメッセージ」
小崎恭弘氏（大阪教育大学教育学部准教授）

奈良の子育て環境についての肯定的な意見の第一位が「自然環境の良さ」を挙げている（P58・図表7-2-1）。これは大きな奈良の特徴である。この点はさらなる充実、発展が望まれる。ただしこの項目自体は、地方都市であれば上位にくることが予想されるものであり、単に環境の良さだけをアピールするのではなく、子育て世代により積極的に活用される工夫や取り組みが求められる。

また否定的な理由に「教育」「医療」「福祉」への不備が指摘されている（P59・図表7-3-1）。これらは市町村の取り組みに担う部分も大きいですが、どれも高い値であることを考えれば、広域行政として県全体の底上げや整備が求められる。県民の生活にダイレクトに直結する項目への不満が高いことに対して、今後の改善の視座を示している。またこれらの項目は、乳幼児期から始まり生涯にわたり続くものである。つまり人生の初期におけるネガティブなイメージは、その後も継続する可能性が示唆される。反対に言えば、この人生の初期のタイミングで信頼に足る行政としての存在感を示すことは、その後の県民の安心感や信頼を得ることに繋がると考える。そのような視点に立てば、妊娠、出産、子育ての人生の初期の支援や取り組みは、地域住民への大きなメッセージを含んでいる政策であると考えられる。

このことより「妊娠、出産、子育て」の人生の初期の社会保障を含む、「教育」「医療」「福祉」に対する政策を、より具体的な見える形で実施、アピールを行って欲しい。

◆有識者が読み解く奈良県のデータ◆ 「奈良のイメージ・夫婦と独身者の違い」
清水益治氏（帝塚山大学現代生活学部こども学科教授）

夫婦調査では、奈良県は結婚して子どもを生き育てやすいところだと思う割合が6割を超えている。これは決して少ない数字ではないと考える（P57・図表7-1-1）。

また、奈良県が子どもを生き育てやすいところだと思う理由として、「買い物など日常生活環境が整っているから」を選んだ割合が高いが、独身者の方は低く（P58・図表7-2-1）、さらに、一方で、奈良県が子どもを生き育てやすいところだと思わない理由として、「買い物など日常生活環境が整っていないから」も高い（P59・図表7-3-1）。これは、独身者のイメージでは、買い物など日常生活環境が整っていないように思われているが、実際子育てしてみると、そうではないということであり、将来の生活のイメージにつながる奈良の良さを伝えていく必要を感じる。

奈良県結婚・子育て実態調査報告書
概要版

平成31年3月

編集・発行 奈良県福祉医療部こども・女性局
女性活躍推進課
〒630-8501 奈良市登大路町30
電話 0742-27-8603

